

横浜市旭公会堂指定管理者選定委員会  
審査報告書  
(公表用)

平成23年 9月

## 審査について

横浜市旭公会堂の指定管理者の候補者選定にあたり、横浜市旭公会堂指定管理者選定委員会（以下、「選定委員会」という。）は、応募団体から提出された提案書類の審査や公開による面接審査を行ってまいりました。

この度、選定委員会による審査が終了し、候補者を選定いたしましたので、ここに審査結果を報告します。

選定委員会では、公募要項においてあらかじめ定めた「評価基準項目」に従って、応募団体から提出された提案書類を審査し、面接審査において、応募団体からの提案説明及び選定委員による質疑を行い、各委員の評価点の合計点により、候補者を選定しました。

### 横浜市旭公会堂指定管理者選定委員会委員名簿

氏 名	役 職
大越 由美子	旭区民生委員児童委員協議会会長
佐々木 明男	旭区連合自治会町内会連絡協議会会長
西野 公晴	中小企業診断士
藤崎 晴彦	学識経験者
山田 公雄	旭区文化振興会会長

(氏名50音順)

## 横浜市旭公会堂指定管理者の候補者内定までの経過

### 1 経緯

- 平成23年6月23日 第1回横浜市旭公会堂指定管理者選定委員会  
(選定方法、評価基準、公募要項等の決定等)
- 平成23年7月1日 公募要項配布開始
- 平成23年7月15日 応募者説明会
- 平成23年7月29日 公募要項配布終了
- 平成23年8月1日 応募書類受付開始
- 平成23年8月2日 応募書類受付終了
- 平成23年8月31日 第2回横浜市旭公会堂指定管理者選定委員会 (面接審査、本審査)

### 2 指定期間 (予定)

平成24年4月1日～平成29年3月31日

### 3 公募周知方法

旭区ホームページ掲載 7月1日～7月29日

### 4 公募日程

- (1) 募集要項配布期間 7月1日～7月29日 (旭区ホームページにて配布)
- (2) 応募者説明会 7月15日 (16団体出席)
- (3) 応募書類受付期間 8月1日～8月2日

### 5 応募団体

3団体

### 6 選定委員会の開催及び選定方法

- 平成23年6月23日 第1回横浜市旭公会堂指定管理者選定委員会  
選定方法、評価基準、公募要項等の決定等
- 平成23年8月31日 第2回横浜市旭公会堂指定管理者選定委員会  
面接審査 (プレゼンテーション、質疑応答) 及び  
本審査 (審議による候補団体の選定)

### 7 内定団体

#### (1) 第1位候補者

所在地：東京都渋谷区千駄ヶ谷五丁目14番9号  
団体名：テルウェル東日本株式会社  
代表者：代表取締役社長 中山 進

#### (2) 第2位候補者

所在地：東京都品川区西五反田7丁目19番1号  
団体名：株式会社シグマコミュニケーションズ  
代表者：代表取締役社長 西野 好彦

評点集計表

評価基準項目		配点 150点×5人	テルウェル東日本 株式会社	株式会社 シグマコミュニケーションズ
公会堂の設置理念、 区政運営上の位置 付け等の理解 (30点×5人)	公会堂の設置理念・施設特性の 理解	75	57	51
	区の特性、区政運営の方向性、 立地特性等の理解	75	55	55
公共施設としての サービス品質の維 持・向上 (50点×5人)	施設に求められるサービスの 把握と平等な提供	100	68	68
	利便性の向上・ホスピタリティ の向上の取組	100	70	68
	施設のクオリティを維持する 施設管理計画	50	35	35
管理運営経費の縮 減 (20点×5人)	効率的な管理運営の工夫	50	36	34
	利用料金収入増加への意欲	50	36	36
安定した運営体制 の確保 (50点×5人)	安定性(管理運営の体制が充分 か)	75	55	50
	健全性(個人情報保護、法令順 守、職員研修、自己評価)	75	51	50
	安全性(危機管理対策)	100	70	64

合計	750	533	511
※◎は第1位候補者、○は第2位候補者 →		◎	○

## 選定理由書

横浜市旭公会堂指定管理者選定委員会において、書類審査及び面接審査を行い、評価基準項目に沿って評価しました。

この評価基準項目による評点合計や専門的視点から見た団体の経営状況、区の管理運営費予定額に対する団体提案額に基づき審査した結果、次のとおり指定管理者の候補を決定します。

### 横浜市旭公会堂

#### 第1位候補者 テルウェル東日本株式会社

##### 【選定理由】

港北公会堂の指定管理の実績を踏まえた上で、旭区における独自の提案がなされており、相対的に評価が高かった。提案内容は、地域に対して発展的なもので、区民へ還元していく姿勢もみられ、かつ積極的なものであった。指定管理料は、人件費を抑える等の工夫により大幅削減の提案であった。

「サービス向上委員会の設置」「災害時における他施設との連携」等の具体的な提案に、利用しやすく安全な施設運営へ対する意欲を感じた。中でも「受付のカウンター型改修」「コンシェルジュ機能の設置」は非常に良い提案なので、ぜひ実現していただきたい。人件費が低く抑えられているところが気になるが、優れた人材の配置や十分な職員教育がなされることを期待する。

旭区の実状をよく把握しており、他区での現指定管理者としての実績と経験を、旭区の地域特性に反映させた独自の施設運営が期待できる。

#### 第2位候補者 株式会社シグマコミュニケーションズ

##### 【選定理由】

南公会堂の指定管理の実績があり、相応の提案内容であった。説明はわかりやすく流暢なものであったが、旭区への思い入れ、提案の独自性に物足りなさを感じた。

旭区の特性を踏まえた提案という点では特筆すべき点がなかった。旭区が抱える高齢者化への対策など、より具体的な提案があると良かった。

指定管理料は、本社経費が他の応募団体より高く、この点においては、計上額に見合った本社のバックアップ体制の提案が欲しかった。また、事務費がかかり過ぎの感がうかがえた。

事業計画は、他区での指定管理の実績をもとに策定されたものであるが、旭区では旭公会堂の指定管理を通じて、どのようなことをしていくのかという具体的な説明が不足していた。